

市民になじみ深い第四高等学校の跡地が県中央公園として姿を変えて開放されたのは昭和44年春でありました。

この中央公園の中のカスケードは、昭和47年の県政100周年の記念すべき年に、中西知事の発案により、郷土出身の故谷口吉郎博士（芸術院会員）の設計により建設されました。設計は郷土色をとり込むことに留意され、戸室石を使い、金沢城の石垣のイメージが表現されています。

このカスケードの建設により、公園の景観をひきしめ、各種集会、催し、お祭りの背景として、文字どおり都心のオアシスとして親しまれていることは、嬉しい限りです。

石原周次（公園緑地課部参事）



中央公園(カスケード) 金沢市広坂 ●竣工年度/S.47

